

県下一斉ノーマイカーデーに参加

3日間でのべ約4,700人の参加、CO₂削減に寄与

昨年12月9日から11日までの3日間、長崎県内一斉にマイカー通勤を自粛する「ノーマイカー3 days」が実施された。

長崎県の呼び掛けで始まったこの取り組みも、今回で4回目となり、前回と同様に長船に加えグループおよびパートナー会社も取り組みに参加した。

長崎市の大波止棧橋と香焼工場をつなぐ通勤船は、行き帰りともに3便に増便。出勤時は、3日間合計で普段より約300人多い社員が利用した。また、バスなど公共交通機関の利用や、車に乗り合わせるなどして3日間でのべ約4,700人が協力した。



早朝の大波止棧橋 今回も多くのマイカー通勤者が参加した

今回の「ノーマイカー3 days」で、長船（含むグループおよびパートナー会社）が削減したCO₂量は約28,400kgと推測される。これは一般家庭1世帯が排出するCO₂量の約5年5ヵ月分に相当する。

長崎ロータリークラブによる職場見学会

長研の社会的貢献度、設備の大きさに感銘

昨年11月19日、長研では「長崎ロータリークラブ職業奉仕委員会」会員の意識高揚を図り、見識を広め深める活動の一環として、同クラブの殿村会長はじめ23人による職場見学会を行なった。

職業奉仕委員会は、ロータリークラブが組織する委員会の1つで、会員がそれぞれの職業を通して奉仕の実践を図ることを目的に活動を推進しているもの。冒頭、職業奉仕委員長の小松社長から見学受け入れへのお礼が述べられ、続いて川本所長から長研の概要を説明した。

その後、長研の大型設備である大型汎用風洞や、IGCC石炭ガス化複合発電設備、耐航性能水槽を見



長研職員の解説に聞き入る職業奉仕委員の皆さん

学した。参加者は、概要の説明や見学を通じて長研の社会的貢献度の大きさや、実験設備の大きさに感銘を受けていた。また見学後の懇談・質疑応答では多くの質疑が交わされ、最後に殿村会長から感謝の言葉が述べられ見学会は終了した。

松浦市で「中学校軟式野球教室」

県内の高校出身部員が講師として参加

硬式野球部

昨年12月20日、松浦市文化会館ふれあいホールで開催された「松浦市中学校軟式野球教室」に長船硬式野球部員7人が講師として参加した。

これは、松浦市教育委員会が主催し、松浦市内の中学生を対象に硬式野球部員との交流を通じて技術力向上を目的とし開催されたもの。

当日は、松浦市の近隣にある清峰高校出身の有迫、佐々木両選手をはじめ、県内の高校出身の部員が技術指導にあたった。



バッティングの指導をする池田選手

寒波の到来により、みぞれ混じりの天候ではあったが、全国レベルの硬式野球部員から直接指導を受けられるとのことで、松浦市内の中学生60人が元気いっぱい参加した。